

KAIZENサマーセミナーを開催しました

7月23日開催のKAIZENサマーセミナーについての報告です。

民間企業や他自治体の実践事例に触れることにより、業務改善や組織づくりについて認識と理解を一層深め、各業務改善委員会や職場での継続的な活動の参考としていただくために、セミナーを開催し116名(民間企業・他自治体職員を含む)の方にご出席していただきました。このセミナーが一職員一改善の取組への弾みをつける契機となれば幸いです。

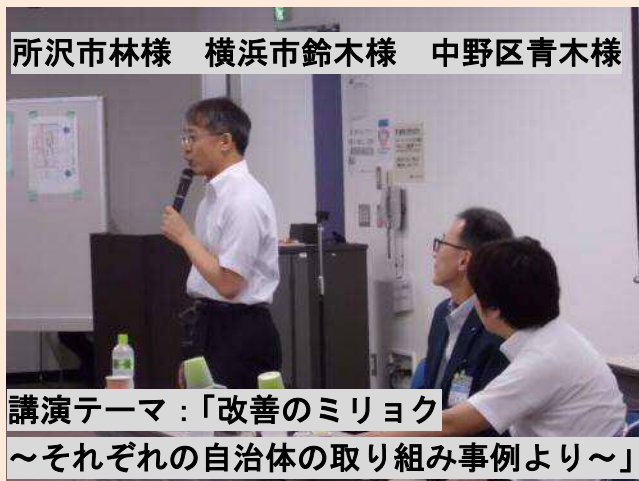
東日本高速道路株式会社鈴木様



講演テーマ：

「NEXCO 東日本グループの業務改善活動
『タスク・ダイエット&エスプラス』」

所沢市林様 横浜市鈴木様 中野区青木様



講演テーマ：「改善のミリョク
～それぞれの自治体の取組み事例より～」



■東日本高速道路株式会社様の講演資料は、ライブラリ「0010022 行財政改革推進部 > カイゼン交流」に保存しています。

■三自治体様のご講演は、3人の講師のトークで進行する形式でした(講演資料なし)。

今回のKAIZENサマーセミナーは、東日本高速道路株式会社様と横浜市様、所沢市様及び中野区役所様にご講演をいただきました。東日本高速道路株式会社様の取組につきましては、参加者から「カイゼンの効果を数値化しているところが素晴らしい」「業務改善が顧客満足に繋がることが理解できた」などの感想がありました。

また、三自治体様の発表につきましては、参加者から「カイゼン活動を一過性のものにしていないために地道な努力が必要」「明るく楽しく取り組むことが大切」など、本市が改善活動を推進するためのポイントになるとのご意見をいただきました。

Bangladesh の大臣と駐日大使が業務改善の視察にお越しになりました

8月10日に Bangladesh 人民共和国のイスマット アラ サディック 人事省担当大臣、マスード ビン モメン 駐日大使、公務員研修所職員等総勢 18 名の視察団をお迎えし、本市の改善活動についてご説明しました。



この視察は JICA（国際協力機構）の「TQMを通じた公共サービス改善プロジェクト※」の一環によるもので、本市が取り組む業務改善について説明を行うとともに、市長と Bangladesh 国人事省大臣が会談しました。

市長からは、「CS90運動」は、職員の意識改革から始まるが、自分の仕事をより良くしようという改善意識を持ち、実践を積み重ね、継続していくことが、市民満足度の向上につながっていくものと考えている、とのお話がありました。

※総合品質管理（TQM：Total Quality Management）の実践を通じ、Bangladesh 国の官僚の意識改革や業務改善を持続的に促進する体制整備を図るため、公共セクターのサービス改善にかかる研修体制の整備などを行う JICA が実施するプロジェクト。

～編集後記～

Bangladesh 国の大臣が来庁した頃は、とても暑い日々が続いていましたが、最近は涼しい日や長雨が続いております。たった一か月しか経過していませんが、季節の移ろいを感じます。

さて、Bangladesh 国大臣の視察対応にあたり、様々な部署の皆様が御協力をいただきました。今回は外国の要人をお迎えするという事で、いろいろと勉強させていただきました。改めてお礼申し上げます。

暑さが落ち着き、毎日の通勤で汗だくにならなくなったのは良いのですが、今年はあまりプールに行けなかったなと少し心残りです。
(夏の終わりは少し寂しい ころすけ)